

課

広葉樹用材林育成技術体系の確立（有用広葉樹ケヤキ・クワの天然更新）

調査結果

(1) 稚樹の消長

更新方法	刈出方法	プロット	設定時		元年度		2年度		3年度		4年度		消長量	
			ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ
天然下種	無刈	1	1										-1	0
		2	27	2	15	1	8	1	6	1	6	1	-21	-1
	高刈	3	45	1	18	1	4	1	2	1	2	1	-42	0
		4	1										-1	0
	全刈	5	200	1	21	1	5		5		5			
		6	31		22		22		22		22		-9	0
	林内	7	11		5		5		1		1			
		8	106		62		44		29		23		-83	0

* 稚樹の新たな発生は無かった。

* 林内の場合、照度不足のため今年度も消滅した。

(2) 樹高成長量調査

更新方法	刈出方法	プロット	設定時		元年度		2年度		3年度		4年度		成長量	
			ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ	ケヤキ	クワ
天然下種	高刈	A	30											
		B	70	120	192	258	220	336	254	360	292	385	222	265
	全刈	C	93	119	181	340	214	387	236	473	261	526	168	407
山引移植	全刈		54		332		434		457		485		431	

* ケヤキ、クワ共に天然下種、山引移植をとわず良好な成長をしている。

(3) 有用広葉樹（ケヤキ・クワ）の天然更新（2年度新設プロット調査分）

場所：霧島国有林240ぬ林小班

1プロット面積：5*5=25㎡

区分	調査位置	面積 ㎡	ケヤキ				クワ			
			調査本数	平均樹高	平均根元径	HA当本数	調査本数	平均樹高	平均根元径	HA当本数
下刈区	上	25	20	2.60	2.1	8,000	4	3.22	4.3	1,600
	中	25				5	4.61	5.3	2,000	
	下	25				4	4.75	7.5	1,600	
	平均	25		2.60	2.1	8,000		4.19	5.7	1,733
高刈区	上	25	39	2.30	0.9	15,600	7	2.52	1.9	2,800
	中	25	26	3.50	2.5	10,400				
	下	25								
	平均	25		2.90	1.7	13,000		2.52	1.9	2,800
無刈区	上	25					8	3.26	2.1	3,200
	中	25					2	3.78	2.7	800
	下	25					3	2.72	1.5	1,200
	平均	25						3.25	2.1	1,733
全体平均				2.75	1.9	10,500		3.32	3.2	2,089

平成5年 技術開発実施報告

様式2

都城営林署

課題	広葉樹用材林育成技術体系の確立[有用広葉樹(クワ、ク)天然更新法]					
継続	担	造 林 課	開 発 箇 所	都 城 営 林 署	開 発 期 間	昭和60年度
指示	当					平成12年度
年度別実施経過			平成5年度実施報告			
1、試験地設定 (1) 時期、(昭和60年度) (2) 場所、霧島国有林40ぬ林小班 (3) 面積、1.66HA 2、移植試験 (1) 60年度、23本 (2) 61年度、25本 3、保育の方法 (1) 下刈区、昭和59~62年度 (2) 高刈区、昭和60~62年度 (3) 無刈区、 4、試験7°ト追加設定(平成2年度) (1) 下刈区、17°ト25㎡を3箇所 (2) 高刈区、” (3) 無刈区、” 5、保育 刈出し、つる切(平成2年度) 6、調査事項 (1) 稚樹消長調査昭和59~平成3年度 (2) 成長量調査” (3) ぼう芽株の消長調査(5株) (昭和61年度~平成2年度) 7、調査事項 (1) 稚樹消長調査 (2) 成長量調査 (平成4年度)			1、保育(つる切) 面積1.66HA・・基職2名			

平成6年 技術開発実施報告

様式2

都城営林署

課題		広葉樹用材林育成技術体系の確立 [有用広葉樹 (ケヤキ, クワ) 天然更新法]					
継続	担	造 林 課		開発箇所	都城営林署	開発期間	昭和60年度 平成12年度
指示	当						
年度別実施経過				平成6年度実施報告			
1. 試験地設定 (1) 時期 (昭和60年度) (2) 場所, 霧島国有林240ぬ林小班 (3) 面積 1.66ha 2. 移植試験 (1) 60年度 23本 (2) 61年度 25本 3. 保育の方法 (1) 下刈区 昭和59~62年度 (2) 高刈区 昭和60~62年度 (3) 無刈区 4. 試験プロット追加設定 (平成2年度) (1) 下刈区 1プロット25m ² を3箇所 (2) 高刈区 // (3) 無刈区 // 5. 保育 刈出し, つる切 (平成2年度) つる切 (平成5年度) 6. 調査事項 (1) 稚樹消長調査昭和59~平成3年 (2) 成長量調査 // (3) ぼう芽株の消長調査 (5株) (昭和61年度~平成2年度) 7. 調査事項 (1) 稚樹消長調査 (2) 成長量調査 (平成4年度)				1. 保育 (つる切) 面積1.66ha — 臨時8名			

平成7年 技術開発実施報告

都城営林署

様式2

課題		広葉樹用材林育成技術体系の確立 [有用広葉樹 (ケヤキ, クワ) 天然更新法]			
継続	担	造 林 課	開 発 箇 所	都 城 営 林 署	開 発 期 間
指示	当				
年度別実施経過			平成7年度実施報告		
<p>1. 試験地設定 (1) 時期 (昭和60年度) (2) 場所, 霧島国有林240ぬ林小班 (3) 面積 1.66ha</p> <p>2. 移植試験 (1) 60年度 23本 (2) 61年度 25本</p> <p>3. 保育の方法 (1) 下刈区 昭和59~62年度 (2) 高刈区 昭和60~62年度 (3) 無刈区</p> <p>4. 試験プロット追加設定 (平成2年度) (1) 下刈区 1プロット25m²を3箇所 (2) 高刈区 //</p> <p>5. 保育 刈出し, つる切 (平成2年度) つる切 (平成5年度)</p> <p>6. 調査事項 (1) 稚樹消長調査昭和59~平成3年 (2) 成長量調査 //</p> <p>7. 調査事項 (1) 稚樹消長調査 (2) 成長量調査 (平成4年度) (平成6年度)</p>			<p>1. 成長量調査 臨時5名</p> <p>2. 試験地看板設置</p>		

場所 字 霧島 国有林 240 林班 ぬ 小班 No.1

撮影年月日 平成 7 年 10 月 16 日

附記事項 有用広葉樹(ワケギ、クワ)天然更新法
成長状況及び上木と下木(稚樹)の樹形の状況。

撮影者 農林水産事務(技)官



育林
年

事務

場所 字 国有林 240 林班 ぬ 小班 102

撮影年月日 平成 年 月 日

附記事項

撮影者 農林



状 況 写 真

区分 指示

部 城 営 林 署

(様 式 6)



試験地
全景



24年伐
新設
設定図



樹高



樹高

平成 8 年 度 技 術 開 発 実 施 報 告 書

様式 2-2

課題名	広葉樹用材育成技術体系の確立「広葉樹（ケヤキ、クワ）天然更新法」				
課題区分	指 示 2 /	開 発 箇 所	霧島国有林 240ぬ林小班	開 発 期 間	昭和60年～ 平成12年
当 年 度 別 実 施 計 画			当 年 度 実 施 報 告		
1. 成長量調査 2. 林分推移調査 (1) 上木の林況調査 (2) 下木の稚幼樹の成長量調査			1. 成長量調査 2. 林分推移調査 (1) 上木の林況調査 (2) 下木の稚幼樹の成長量調査		